

島本町立歴史文化資料館 館報第 10 号



平成 30 年 12 月

島本町立歴史文化資料館

はじめに

ご来館のみなさまに支えられ、当資料館は開館 10 周年を迎えました。

毎年企画展の立案には職員一同で、どのようにすれば魅力ある本町をお伝えできるのか苦心いたします。

まず、島本町に国宝があることの素晴らしさをお伝えしたい、種々な史跡を身近に感じていただける工夫が当面の課題でした。開館 10 周年を契機に、展示エリアの様態替えをいたしました。当館でしか味わえない展示品を特徴的にご覧頂けるようレイアウトしております。

普段からの温かいご支援に感謝すると共に、何度でもお運び頂きますよう今後とも、益々精進いたします。これからもどうぞよろしくお願いたします。

なお、本年は 6 月の大阪北部地震、その後の豪雨・台風と自然災害の年となり、当館にも微小ながら被害ができました。被災されました方々にはお見舞い申し上げます。

改めて、入館者のみなさまの安全確保、展示文化財の保全を考え直す機会を得ました。お気づきの点がございましたらお報せくださいますようお願いいたします。

平成 30 年 12 月吉日

島本町立歴史文化資料館
館長 吉村 光子

目 次

はじめに	1
講演会	
「北大阪のまつりと大阪府内のまつり」	講師 森 成元 氏・・・3
「しまもとの近代化」	講師 久保 直子 氏・・・5
展示	
常設展「ひと・もの・みち」	7
企画展「町内発掘調査成果速報展」	7
企画展「しまもとの街道と近代化」	8
秋の展示「水無瀬駒 関連資料」実物展示	8
秋の企画展「しまもとの息づく祭事」	9
民具・農具展「むかしのくらしと農家のしごと」	10
体験講座	
「土器復元にチャレンジ」	10
「瓦ストラップ・マグネットづくり」	10
「石アート！」～遺跡から出た石がアートに！～	11
資料館ボランティアの活動報告	11
事業報告	
企画展・催物一覧	12
公募による催物一覧	12
入館団体	13
日誌抄録	13
利用状況	14
寄贈・寄託	14
受入れ図書	15
町指定文化財一覧	17

講演会 「北大阪のまつりと大阪府内のまつり」

平成 29 年 10 月 14 日 (土)
大阪府教育庁文化財保護課専門員
森 成元 氏



みなさんこんにちは。大阪府教育庁文化財保護課で無形文化財と民俗文化財を担当しています森と申します。

先週から吹田市立博物館で「北大阪のまつり」と題し、実物とパネルの展示をされておりまして、島本町を含みます北大阪のいろんなおまつりをご紹介されています。そのなかで島本町尺代の諏訪神社の「お頭（おとう）」、という行事が紹介されています。北大阪地域は豊能地域と三島地域合わせて7市、3町からなる地域で淀川の北側に沿った古くから開けている地域です。大阪府内で「まつり」と言えば、だんじりまつりや天神祭が一般的です。また、ふとん太鼓・太鼓みこしが担がれる神社のおまつりを思い浮かべられる方も多いと思いますけど、いろんな形があります。今日は「北大阪のまつりと大阪府内のまつり」と題してのお話をさせていただきます。

大阪府内の国指定重要無形民俗文化財で特色のある行事をご紹介したいと思います。

まず、四天王寺の聖霊会の舞楽です。聖霊会は聖徳太子の聖霊をまつる法会で四天王寺につくられた石舞台上で舞楽を行います。四天王寺創建にかかわる聖徳太子がお亡くなりになった2月22日にちなんで現在は4月の22日に行われています。奈良時代以来、主に中国、朝鮮半島から伝わった仏教の法要と舞楽・雅楽が現在も行われている非常に貴重なもので国の重要無形民俗文化財となっています。途中中断もありますが1700年続けられているとも言われています。舞楽、雅楽は平安時代に今のかたちになったと言われており、四天王寺の舞楽、奈良の南都の舞楽、京都の宮中にあった楽所の三方楽所の三つが長らく舞楽を伝えてきています。日本全国に広まった獅子舞の原型は、この舞楽にあると言うことで、仏教であれ神道であれ、獅子は神様もしくは仏様と人間のあいだを繋ぐ、靈獣という位置づけであることがわかつてと思います。最後に舞われる太平楽という曲を毎年行っているのも四天王寺の特徴です。

次にご紹介しますのは、同じく国指定重要無形民俗文化財になっております住吉のお田植です。お田植神事というのはその名の通り田植えをして神様に奉納します。大阪府内では、能勢の御田、大阪市内で杭全神社の御田、住吉大社のお田植の3ヶ所だけしかやっていません。住吉大社がなぜお田植と言われるかという、神殿で実際の田植えをするからです。他では田植えの真似をして行事をやっている所がほとんどです。

住吉大社の祭礼のおりに行われるお田植神事は田植行事です。植女から替植女が苗を受け取り、田植えをされます。八乙女による田舞、風流武者が紅白に分かれて陣鐘・太鼓・ほら貝を打ち鳴らしながら、六尺棒を打ち合う棒打合戦、長柄の傘を開いて持つ音頭取の歌につれ、菅笠をつけた僧形の子供たちが、団扇を打ちながら傘のまわりを踊りまわる住吉踊りなど、実際の田植えをしながら芸能を伴った風流行事が行われるということです。こうやって舞台の中央でいろんな行事が進ん

でいるうちに田植えが同時に進んでいきます。実際、牛で代掻きをし、手で植えるという事を保存されているだけでも大変なことだと思います。これを住吉大社では毎年やって下さっています。

その他に、堺市南区の桜井神社に上神谷（にわだに）のおどりというものがあり、もとは雨乞踊りとして踊られたものです。片歳の桜井神社の秋祭の中で中踊りと外踊りで構成され、中世の風流（ふりゅう）踊りの系統を引くもので著名なものです。

それから、北大阪地域で一番著名なものが能勢の浄瑠璃です。人形浄瑠璃文楽とは人形を使って義太夫三味線と義太夫節で語って人形を動かして劇をするもので、大阪市中央区の国立文楽劇場で行われている訳ですが、能勢にも浄瑠璃があり、これは素浄瑠璃といい、人形がなくて三味線と義太夫を語る太夫の方のみがやられるというものです。浄瑠璃のトップの人は「おやじ」と言うんですが、その人が後継者を養成して、門弟を集めて教えて広がる。この浄瑠璃を語る人は200人もいるんです。国立文楽劇場の技芸員の太夫さんだって50人くらいもおりませんから、200人も語る人がいると言うのは希有なことです。この浄瑠璃は杉村量輔の門人、竹本文太夫派と、竹本井筒太夫派、竹本中美太夫派の三派があり、さらに平成13年、200年ぶりに能勢町の東地区に竹本東寿太夫派が旗揚げし4派体制となっておりますさかんとなりました。能勢町は、浄瑠璃シアターという会館も造って浄瑠璃の振興に努められるというのは、非常に特筆すべき事だと思います。

次に、「特色のあるおまつり」としてご紹介したいと思います。

1月の第2日曜日に島本町の尺代の諏訪神社で「お頭祭（おとうさい）」が行われます。神社境内にて弓矢で的を打ち、藁で作った網で綱引きをして、豊作の祈願を行うものです。午前8時半に尺代の公会堂に集まり、綱と的を作ります。綱の長さは9m、太さ40cmほどです。午後2時前に綱と的などを神社まで上げます。祭典が行われたあと、旧当家2名と、新当家2名が、10本ずつ矢を射り三回繰り返します。次に綱を東西に分けて引き合い、2回勝負をします。勝った方の組が豊作になると言われています。これは大沢の早尾神社でも行われているとのことですが、島本町では、こういった貴重な行事が行われているのでこれからも続けていっていただきたいと思います。

あと、この北大阪での特徴的な行事で、「台額」というのがあります。豊中市の桜塚の原田神社と熊野の八坂神社で「台額」という山車が出ます。大阪市西成区の生根神社にも「玉出のだいがく」という山車があり、現存するのはただ一基ということで、大阪府の有形民俗文化財に指定されています。このお祭りは天神祭と同じ日に行われておりまして、マスコミでほとんど報道されていないんです。南大阪地域では非常に規模の大きなおまつりです。

熊野の八坂神社の台額は4つの地区で4基あり、10月の祭礼の時に宵宮で練られます。宵宮には夜、各地区に巡回した後境内に順次担ぎ込まれます。神の化身とされる獅子とともに獅子追い神事に加わり、境内を練ります。この台額は、高さが5メートル、で500キロあり、4基のうち2基が江戸時代のもので、最古のものは西地区の天保14年、1843年製作で、この頃から祭りに加わったと言われています。

池田の神田の八坂神社には、この台額とよく似た額灯があります。また、北大阪の豊中、摂津の藤森神社でもお祭りの時に非常に大きな提灯が宮入するなど、特徴のあるお祭りが多いので、是非近くで行われているお祭りをご賞観けると面白いと思います。

講演会「しまもとの近代化」

平成 29 年 6 月 3 日

久保直子氏（島本町教育委員会生涯学習課）



今回「しまもとの近代化」という演題で、年表にそってお話をさせていただきます。

慶応 4 年、明治元年（1868 年）に大阪鎮台が設置され、5 月に大阪府が置かれました。同じ年、山崎村はまだ京都府に属していて、広瀬・東大寺・高浜・桜井・大沢の各村は大阪府島上郡に属していました。明治 4 年に大阪府は住吉・東成・西成・島上・島下・豊島・能勢の 7 郡を管轄下に置き、山崎村と東大寺村の 41 軒中の 20 軒が京都府に編入されます。その後、山崎村、東大寺村は国境の争いを行い、明治 6 年には山崎村が大阪府の島上郡の所属となりました。

学校制度をみると、明治 6 年の学制発布により、梶原村の一乗寺本堂を借り入れて島上郡第 1 区 1 番小学校が開設されました。翌年には 2 番小学校となり、12 年の学区名廃止により、この 2 番小学校が広瀬小学校となり、同時に尺代小学校ができました。20 年には広瀬小学校が広瀬尋常小学校となり、25 年には尺代小学校を廃止して広瀬尋常小学校に編入され、30 年には尺代尋常小学校が設立されました。学校は、こうして年々によって名前が変わっていきました。

大阪府の全誌によると、29 年の 4 月 1 日に島上郡と島下郡が合併して三島郡となり、島上郡の島本村は三島郡の島本村になります。これが最初の三島郡島本村です。

明治時代の島本村の発展という点とまず鉄道です。明治 5 年に東京横浜間で鉄道が初めて敷かれ、明治 9 年、大阪～京都向日町間に鉄道が開通します。8 月には国鉄の山崎駅が出来ます。今の山崎駅舎は昭和 2 年に建設されたもので、非常に古い駅舎だと聞いております。

次に明治 43 年 44 年に、岩谷（東大寺）に内務省（現建設省）の採石場ができて、44 年には岩谷で淀川下流改修工事用の石材の搬出が始まります。淀川の下流の改修工事の搬出は大正 11 年に終了しますが、淀川の改修は非常に重要だということで昭和 47 年まで続けられました。その当時は岩谷の採石場、尺代から水無瀬川へむかってトロッコの架線が敷かれていたということで、島本にそういう風景があったんだという事を想像していただけたらと思います。

大正元年、農業協同組合の前身である、島本信用販売購買利用組合が設立され、2 年には今の商工会の前身の島本実業共栄会が結成されました。このあと島本村には電気が通るようになりました。10 年になりますと、山崎郵便局で電話交換始まり、商工会が設立されました。そして 12 年 13 年 15 年に大きく島本村の発展をみることができます。壽屋造山崎工場、大日本紡績株式会社山崎工場が島本町に工場を作ります。そのため、島本村の人口は大正の終わりから昭和の初期に渡って急増しました。特に女性の人口が急増しました。これを機に島本村は一気に工業化が進み、人口が増え、街に活気がでてきたのではないかと思います。役場に工場の税金が入ったり、多くの人々が引っ越しをしてきたという記事が、大正 15 年 2 月 17 日の大阪朝日新聞に載ったと島本町史に書かれています。この当時、山崎村の西国街道沿いは非常に賑わったというようなことを聞いております。

昭和に入ると、2 年、日紡葎ヶ丘住宅でき、3 年に山崎駐在所できました。新京阪鉄道が高槻～

西院間で開通し、大山崎駅が出来ました。9年には京阪電気鉄道土佐桜井ノ駅ができ、14年に京阪電気鉄道の桜井ノ駅（現水無瀬駅）ができました。7年に国道171号線産業道路ができ工業化が進む中、交通機関の発達が島本村の大きな発展に繋がっていきました。

また年表に戻りますと、昭和11年島本小学校の校舎ができます。その後、大日本紡績山崎工場の結核療養所の「青葉荘」が建ち、12年に島本村役場の庁舎が完成しました。現在の第一小学校の体育館付近に建ったと聞いています。そして、昭和15年島本村が島本町になります。

昭和15年以降戦争が始まり、全国の小学校は国民学校と改称され、22年、国民学校は島本町立小学校に名称が変更されました。22年、島本町の巡査駐在所を廃止して同じ場所に、島本町警察ができました。同時期水無瀬にも駐在所が出来ました。

27年には町営住宅の建設が一気に始まり、塵芥焼却場が出来ます。28年に町立保育所ができ、30年に都タクシーが山崎駅で開業します。37年に淀川の渡しは廃止されましたが、バスやタクシーなどが充実し、工業化が進む中、大阪空港にも近いということで島本町が大阪近郊のベッドタウンとして、発展したということがわかつて思います

32年に神宮外苑町営プールができました。33年には山崎製樽工場、35年に水無瀬市場ができ、36年、積水化学工業の中央研究所が建設されました。37年、世界長ゴムが出来、46年まで続きます。38年には現在の大阪府立島本高校の場所にニチレイ・パークシャーができました。これも47年までありましたが、今はなくなってしまいました。同じ時に名神高速道路の桜井のパーキングができました。39年、東海道新幹線が開通し、住友特殊金属ができ、40年にエスコック大阪桜井工場、島本センター、水無瀬郵便局と次々施設や工場ができました。42年には大沢のキャンプ場ができ、日紡の子会社として独立したユニチカリネンサプライができました。43年に、公衆電話が登場し、町章が制定されました。44年には青年の家ができます。これは平成13年の3月に廃止になってしまいました。46年、町立幼稚園が開園し、トッパンムーアが桜井に出来ました。47年、清掃工場や、大蔵浄水場ができ、みなせボウルができました。また、町の住民センターの竣工式を行うと言うことで、町の木として「楠」を、町の花として「やまぶき」が制定されました。48年に島本町役場、中央公民館、住民ホールができ、住民センターとなったようです。中央公民館そのものは平成12年に廃止されて、住民ホールは平成27年取り壊しになりました。48年は、グンゼ物流センターが開業します。あとは、新大阪ゴルフ場が出来て、サントリーの中央研究所も出来ました。49年、島本高校や町立キャンプ場が出来ました。51年には万代百貨店水無瀬店が出来て、みなせボウルが無くなってダイエー水無瀬店が開店しました。52年には摂津信用金庫が広瀬から水無瀬に移転し、53年に摂津信用金庫の建物を利用して町立図書館ができました。今は教育センターになっています。消防庁舎が完成して、水無瀬にあった消防署出張所が閉鎖されました。

以上、このように工業化が進んだことによって人口が増え、鉄道が敷かれ、駅が出来ることによって島本町が非常に発展していきました。その発展は島本の歴史の中で外せない事となっています。

今回の展示は、昔の島本を知って頂きたいと思い、また古くからここにおられる方々には島本町の再確認をして頂ければと思い企画しました。昔を知る事でこれからの島本町をどうしていったらいいのかを考えるひとつのきっかけになればと思っております。皆さんのいろんな意見や資料を提供して頂くことで、次の新しい展示に繋がっていくのではないかと考えております。島本町の展示等々を充実させていきたいと思っておりますので何卒ご協力のほど宜しくお願いします。

展示

常設展 「ひと・もの・みち」

島本町は、大阪府と京都府の境に位置し、桂川、宇治川、木津川の三川が合流する地にあります。町の中心を西国街道が通り、古来水陸の交通の要衝として栄えてきました。

その街道沿い国史跡桜井駅跡とJR島本駅のすぐ東側に当資料館があります。

写真は、「むかしの教科書」展として、江戸時代から昭和30年代発行の教科書と、現在使われている教科書を展示したものです。

教科書は、町内の方々から寄贈していただいたものを展示させていただきました。



開館時間 午前9時30分～午後5時

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）

12月29日～1月3日 その他臨時に開館・休館する場合があります。

入館料 無料

企画展 「町内発掘調査成果速報展」

展示期間：平成29年7月20日（木）～10月9日（月）

平成28年度は、青葉地区1件、百山地区2件、広瀬遺跡2件の5件の調査を実施し、特に広瀬遺跡においては、コンテナ400箱もの土師器が出土しています。例年、本企画展では、前年度に実施した全ての調査を紹介していますが、平成29年度「町内発掘調査速報展」では、広瀬遺跡の出土遺物が非常に多くあることから、広瀬遺跡の調査成果に焦点をあてて紹介しました。

平成29年7月20日（木）～平成29年10月9日（月）を全体の展示期間とし、平成29年7月20日（木）～平成29年8月27日（日）までの前期展示と平成29年8月30日（水）～平成29年10月9日（月）の2期に分け、前期展示は出土土器を中心に展示し、後期展示は出土瓦を中心に展示しました。

また、速報展の事前周知と、文化財保護の普及啓発を目的とし、「土器復元にチャレンジ」と「瓦ストラップ・マグネットづくり」と題し、2回の体験講座を開催しました。



企画展 「しまもとの街道と近代化」

展示期間：平成 29 年 5 月 10 日（水）～ 7 月 17 日（月）

昭和 15 年に町制が施行され、大正 12 年、寿屋山崎工場（今のサントリー山崎蒸溜所）、同 15 年には大日本紡績山崎工場が操業、町の人口は一気に増加し、舟運中心の交通手段が鉄道中心へと変化していく中でさらなる近代化が進みました。

平成 20 年 3 月、JR 島本駅が開設し、様々な開発が進む中、現在では人口が 3 万人を超えました。

展示では、昭和 49 年の航空写真をもとに“昔のしまもと”“これからのしまもと”を、史跡桜井駅跡を中心とした周辺地域の様子を、写真を通じて住民のみなさんに紹介しました。

平成 29 年
5 月 10 日（水）～
7 月 17 日（日）

「しまもとの
街道と近代化」

講演会
6月3日（土）
午後2：00～午後4：00
「しまもとの近代化」
講師 久保真子 氏

利用案内
開館時間 午前9時～午後5時（入館は閉館前15分まで）
休館日 月曜日（祝祭日の場合は翌日）
入館料 無料

島本町立
歴史文化資料館
〒629-0022
兵庫県東条郡島本町幸一7-1 島本町
TEL 079-641-2671 FAX 079-641-2619

秋の展示 「水無瀬駒 関連資料」 実物展示

展示期間：平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）・ 4 日（土）

例年行っている「水無瀬駒 関連資料」の展示です。
町の文化祭開催に併せて、展示を実施しました。

「水無瀬駒 関連資料」のうち、「小将棋（八十二才銘）」
漆書、「中将棋（八十六才銘）」墨書と、駒の多さ、文字の
珍しさに好評の水無瀬神宮 30 代忠寿氏制作の「大将棋」
の展示を行いました。



秋の企画展 「しまもとに息づく祭事」

展示期間：平成 29 年 10 月 12 日（木）～ 12 月 26 日（火）

展示では、毎年夏に行われている「地藏盆」を中心に、現在も町内の各地域で引き継がれて行われている祭りの様子を紹介しました。

「地藏盆」とは、8月23、24日（古くは旧暦7月）の地藏菩薩の縁日に行う会式です。

近畿地方を中心とする地方で盛んな行事で、関東・東北地方ではあまり行われていません。

島本町の地藏盆の様子は、大半が子どもたちに向けたもので、提灯を飾り付け、当日はご詠歌とともに「数珠繰り」を行い、おやつ配布や子どもたちが楽しめるイベント（夜店・花火やゲーム）を行っています。



写真の展示は、桜井地区の宝城庵の地藏堂で行われている法要の飾り付けを再現したものです。



宝城庵の地藏堂には、二体のお地藏さんがおられます。地藏盆は、和尚の法要に始まり、ご詠歌の奉納が行われ、ご近所の方々がお参りされる姿は、地元根付いた文化を感じさせます。祭りの飾り付けが受け継がれ、お地藏さんの涎かけの付け替えが、心新たな節目となっています。

また、大阪府教育庁と奈良大学より講師を迎え、講演会を実施しました。

講演名：「北大阪のまつりと大阪府内のまつり」

日時：平成 29 年 10 月 14 日（土）

講師：森 成元氏（大阪府教育庁文化財保護課専門員）

講演名：「地藏盆の歴史～京都を中心として～」

日時：平成 29 年 10 月 21 日（土）

講師：村上紀夫氏（奈良大学准教授）

民具・農具展 「むかしのくらしと農家のしごと」

展示期間：平成30年1月31日（水）～ 3月4日（日）

冬期恒例の常設展示となりました本展は、昔使われていた民具や農具を展示し、むかしのくらしと農業について紹介しています。

今年度も縄ない機や足踏みミシンなどの体験コーナーを設け、多くの方に体験していただきました。

また、毎年社会科の体験学習に訪れる町内の小学3年生も積極的に体験し、楽しそうな様子が伺えました。



体験講座 「土器復元にチャレンジ」

日程：平成29年6月10日（土）

歴史文化資料館受付カウンター横に、広瀬遺跡で出土した土器片のオープン展示を行い、自由に土器に触れ、土器の復元作業を体験するコーナーを設置しました。



体験講座 「瓦ストラップ・マグネットづくり」

日程：平成29年6月17日（土）

広瀬遺跡では、土器以外にも水無瀬神宮で使用されたと考えられる瓦が出土しました。この瓦の文様の範型と石粉粘土、ストラップ金具、磁石等を使用して、瓦の文様のストラップとマグネットを製作しました。



体験講座 「石アート！」～遺跡から出た石がアートに！～

日程：平成 29 年 7 月 27 日（木）・28 日（金）

平成 24 年度の発掘調査で縄文時代の遺構が見つかった広瀬遺跡(七反畑)から持ち帰った大量の土中から出た石器以外の石に子どもが絵を描く体験講座「石アート」を今期も開催いたしました。

今年は記録的な猛暑で熱中症対策として机の位置や給水に（職員も含め）気を配りました。子ども達も暑い中元気に楽しく作品作りをする事ができました。



資料館ボランティアの活動報告

1 期、2 期のみなさんと資料館担当職員で毎月一回の定例会を開催しています。

資料館内外で企画される活動に参加・協力いただき、特に団体予約で説明を希望される来館者への解説や、対応をいただいています。

また、「石アート」や「瓦ストラップ・マグネットづくり」などの体験講座や、「むかしのくらしと農家のしごと」展の体験学習コーナーにも参加していただきました。



事業報告

企画展・催物一覧

開催日	企画展名
平成29年5月10日(水)～7月17日(月)	企画展「しまもとの街道と近代化」
平成29年7月20日(木)～10月9日(月)	企画展「町内発掘調査成果展報展」
平成29年10月12日(木)～12月26日(火)	秋の企画展「しまもとに息づく祭事」
平成29年11月3日(金)～11月4日(土)	秋の展示「水無瀬駒 関連資料」実物展示
平成30年1月31日(水)～3月4日(日)	民具・農具展「むかしのくらしと農家のしごと」

開催日	催物
平成29年4月16日(日)	第68回コンサート「響楽in島本町コンサート」
平成29年4月23日(日)	第69回コンサート「青野久美子・藤田純子デュオコンサート」～春風にのせて～
平成29年5月7日(日)	第70回コンサート「音で旅する世界」～200年の時空を超えて～
平成29年5月14日(日)	第71回コンサート「チェロとピアノのコンサート vol.2」
平成29年6月3日(土)	講演会「しまもとの近代化」 久保直子氏
平成29年6月10日(土)	体験講座「土器復元にチャレンジ」
平成29年6月11日(日)	第72回コンサート「上田真実フルートリサイタル vol.2」～音色によせて～
平成29年6月17日(土)	体験講座「瓦ストラップ・マグネットづくり」
平成29年7月27日(木)～7月28日(金)	体験講座「石アート！」～遺跡から出た石がアートに！～
平成29年10月14日(土)	講演会「北大阪のまつりと大阪府内のまつり」 森成元氏
平成29年10月21日(土)	講演会「地蔵盆の歴史～京都を中心として～」 村上紀夫氏
平成29年10月29日(日)	第73回コンサート「松永昌子ピアノで綴る旅シリーズPartⅣ愛の形」 ～シューマンX女流ピアニスト クララ・シューマンXブラームス
平成29年11月19日(日)	第74回コンサート「福井英里子ヴァイオリンリサイタル vol.3」 ～古典派と現代の名曲を集めて～

公募による催物一覧

開催日	内容
平成29年4月27日(木)	「童謡クラブ・歌声さろん」
平成29年5月16日(火)	「童謡クラブ」婦人協会
平成29年5月21日(日)	「島本音楽フェスティバル実行委員会」
平成29年6月4日(日)	「ソプラノリコーダー」
平成29年6月20日(火)	「第7回詩吟発表会」直心吟詩会
平成29年7月1日(土)～7月8日(土)	「七夕飾り」島本竹工房
平成29年8月19日(土)	「かぐや姫の夕べ」竹のオブジェ展示 島本竹工房
平成29年9月24日(日)	「吉氏家再生プロジェクト」吉氏家再生協会大阪
平成29年10月24日(火)	「童謡クラブ」
平成29年10月28日(土)	「童謡クラブ・歌声さろん」
平成29年11月24日(金)～11月25日(土)	「大阪府立島本高校(発表)」
平成30年1月14日(日)	「しまもとパンブークラブ」
平成29年4月～8月 毎週火・木曜日	「朝市」島本農業振興団体協議会
平成29年9月～平成30年3月 毎週火・木・土曜日	

入館団体

日誌抄録

平成29年度(2017)			
4月4日	歩こう会(島本町)	2団体	
4月20日	日本トランプ		
5月10日	新撰採用職員施設見学(島本町)	9団体	
5月12日	長岡京市紅葉会(大山崎町)		
5月17日	藍野学校(茨木市)		
5月18日	百人一首かるた研究会		
5月19日	大阪府北部シニアレジャ		
5月24日	大阪YMCA(大阪市)		
5月25日	百人一首かるた研究会		
5月26日	古道研究会		
	高槻同本会クラブ(高槻市)		
6月7日	サンケイトラベル		7団体
6月9日	浴衣会(吹田市)		
	デイハウス人之郷(枚方市)		
6月18日	関西ゆめの会(高槻市)		
6月21日	初任者研修(島本町)		
6月22日	川西スポーツクラブ(川西市)		
	観鳥会(高槻市)		
7月4日	一時保育パレット	2団体	
7月26日	読書文化センター京都(京都市)		
9月3日	大阪歴史学会 中世史部会(大阪市)	6団体	
9月9日	武生高等学校同窓会関西支部		
9月14日	大阪北部コミュニティレジャ倶楽部 みどり会(箕面町)		
9月16日	大阪北部コミュニティレジャ倶楽部 特選会・山歩会(豊中市)		
9月22日	歩こう会(高槻市)		
10月12日	明徳山の会(西宮市)		
10月19日	琴歌友会(堺市)		
10月21日	電馬ウォーク(高槻市)		
10月24日	幸運会(茨木市)		
10月31日	池田市親友会(池田市)		
11月1日	おおさかぶらぶら散歩(豊中市)	6団体	
11月9日	緑地会(豊中市)		
11月12日	ジョンソン会(千早 鶴)	5団体	
11月17日	大学の同期会(東京・京都 他)		
11月28日	琴歌友会(堺市)		
12月10日	桜い山の愛好会(吹田市)		
12月16日	京都百人一首かるた研究会(京都)		
12月22日	生き生き歩こう会(綾瀬市)		
1月18日	社会教育北ブロック研修会		
1月25日	稲志ガイド		
2月1日	島本町立第四小学校3年生(島本町)		
2月7日	島本町立第一小学校3年生(島本町)		
2月8日	島本町立第三小学校3年生(島本町)		
2月12日	福公研究会・大津支部		
2月17日	山崎医療生協野山を歩く会(宇治市)		
2月24日	よみうり華文化センター(堺市)		
2月27日	島本町立第二小学校3年2組午前(島本町)		
	島本町立第二小学校3年1組午後(島本町)		
2月28日	食を楽しむ会(長岡京市)	9団体	
3月1日	島本町立第一中学校(島本町)		
3月13日	平成二年会(生駒市)	3団体	
3月31日	茨木シニアレジャ		

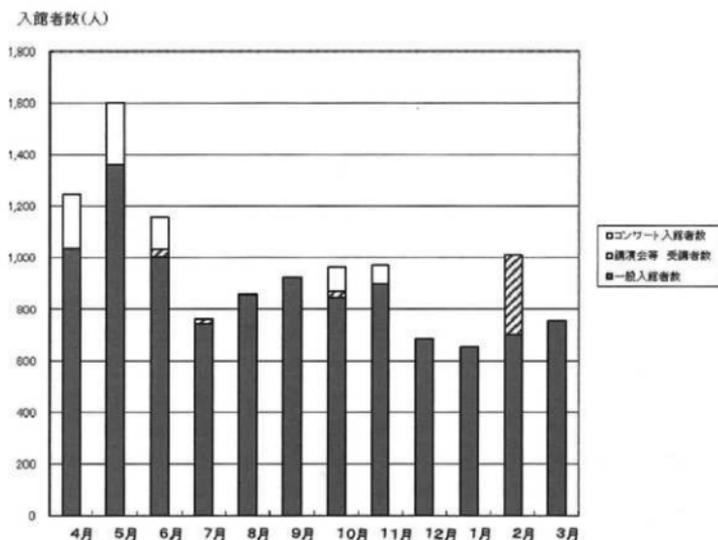
年間 54 団体入館

平成29年度(2017)		
4月14日	資料館ボランティア定例会	2団体
4月18日	第68回コンサート「賢者の島本町コンサート」	
4月22日	第69回コンサート「賢者の島本町コンサート」～華風にのせて～	
4月27日	会館による発表「愛読クラブ・発表お楽しみ」	
5月7日	第70回コンサート「会館による発表」～2017年の特定を聴いて～	
5月19日	企画展「しまともの街道と近代化」展示 (～7/17)	
5月12日	資料館ボランティア定例会	
5月14日	第71回コンサート「チェロピピのコンサート」vol. 2」	
5月18日	会館による発表「愛読クラブ」個人協会	
5月21日	会館による発表「島本音楽フェスティバル」島本町職工会	
6月1日	資料館ボランティア定例会	9団体
6月3日	講演会「しまともの近代化」(講師:久保清子氏)	
6月4日	会館による発表「ソプラノコーダー」	
6月10日	体験講座「本舞踊及に平楽シロ」	
6月11日	第72回コンサート「島本音楽フェスティバル」コンサート vol. 2 ～華風にのせて～	
6月17日	体験講座「民謡とソプラノコーダー」	
6月20日	会館による発表「夏」朗読発表会・書心・書道詩吟会	
7月1日	会館による発表「セタガハ」島本町工務(～7/8)	
7月13日	資料館ボランティア定例会	
7月20日	企画展「島内名産品展 産品展覧会」(～10/2)	
7月25日	消防訓練	
7月27日	体験講座「石アート」(～7/28)	2団体
8月19日	会館による発表「かぐや姫のたぐひのプロジェクト」展示(島本町工務)	
8月31日	資料館ボランティア定例会	
9月24日	会館による発表「島本町産物プロジェクト」島本町産物協会主催	
10月12日	島の企画展「しまともの近代化」(～12/26)	
10月14日	講演会「島本町のまちがら大阪府内のまちがら」(講師:森 規彦氏)	
10月21日	講演会「地域の歴史～島本町を中心に～」(講師:村よしの氏)	
10月24日	会館による発表「愛読クラブ」	
10月28日	会館による発表「愛読クラブ・発表お楽しみ」	
10月29日	第73回コンサート「島本町工務」で演奏会シリーズPart7の発表	
11月2日	資料館ボランティア定例会	
11月3日	「水無瀬橋 関連資料」展覧会(～11/6)	
11月19日	第74回コンサート「福島の音楽子ヴィオラコンサート」vol. 3」	
11月24日	島本高校打合せ(堺市)	
11月25日	会館による発表「大阪府島本高校」	6団体
12月7日	資料館ボランティア定例会	
12月11日	資料館ボランティア定例会	
12月14日	会館による発表「しまとものシンガークラブ」	
12月21日	発表・島本町むかしのおとぎと童話のこころ(～3/4)	
3月1日	資料館ボランティア定例会	

利用状況

平成 29 年度入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般入館者数	1,036	1,361	1,002	745	857	925	847	898	684	656	700	757	10,468
講演会等 受講者数	0	0	33	18	0	0	21	0	0	0	310	0	382
コンサート入館者数	208	239	121	0	0	0	94	73	0	0	0	0	735
総入館者数	1,244	1,600	1,156	763	857	925	962	971	684	656	1,010	757	11,585



寄贈・寄託

平成 29 年度は 294 点の寄贈をいただきました。ありがとうございました。

内容	点数	内容	点数
貨幣、紙幣	66	矢筒、魚板 等	3
皿、鉢、膳	69	縄陶い機、唐笥、葉打機	3
ミシン、火鉢	6	防空ヘルメット、簡易ベット	2
初着	1	書籍、切り絵、賞状、写真 等	144

合計	294 点
----	-------

町指定文化財一覧

島本町文化財保護条例が平成20年7月1日に施行されました。

島本町文化財保護審議会にて審議していただき、下記の文化財を指定しました。

平成21年度 島本町指定文化財 第1号	
名称	水無瀬駒 関連資料
指定日	平成21年4月14日
所有者	水無瀬神宮(個人)
所在地	広瀬三丁目
種類	有形文化財
種別	美術工芸品(歴史資料)
員数	小将棋(漆書・八十二才銘)一揃 合計39枚 飛車が欠落 中将棋(墨書・八十二才銘)一揃 合計91枚 歩兵が欠落 中将棋(漆書)残欠四枚 象戯圖 一巻、附 象戯圖 一巻
時代	安土桃山時代

平成24年度 島本町指定文化財 第4号	
名称	勝幡寺 薬師如来立像
指定日	平成24年4月1日
所有者	勝幡寺
所在地	山崎四丁目
種類	有形文化財
種別	美術工芸品(彫刻)
員数	1躯
品質・形状	ヒノキ材・割頬ぎ造りか・ 彫眼・漆箔仕上げ
法量	像高 150.1cm
時代	鎌倉時代

平成22年度 島本町指定文化財 第2号	
名称	神像(伝 聖徳太子七歳像)
指定日	平成22年4月5日
所有者	若山神社
所在地	大阪市立美術館 寄託
種類	有形文化財
種別	美術工芸品(彫刻)
員数	1躯
品質・形状	ヒノキ材・一木造り・ 彫眼・彩色仕上げ
法量	像高 35.8cm
時代	平安時代後期

平成26年度 島本町指定文化財 第5号	
名称	勝幡寺 元三大師みくじ 関係資料 一式
指定日	平成26年4月1日
所有者	勝幡寺
所在地	山崎四丁目
種類	有形文化財
種別	民俗(有形民俗)
時代	江戸時代(一部推定を含む)
品目	みくじ箋の版木、みくじ箱、 みくじ竹、みくじ筆筒

平成23年度 島本町指定文化財 第3号	
名称	宝城庵 薬師如来立像
指定日	平成23年4月1日
所有者	宝城庵
所在地	桜井三丁目
種類	有形文化財
種別	美術工芸品(彫刻)
員数	1躯
品質・形状	ヒノキ材・一木造り・ 彫眼・彩色仕上げ
法量	像高 96.5cm
時代	平安時代後期

平成27年度 島本町指定文化財 第6号	
名称	須恵器 大甕
指定日	平成27年4月1日
所有者	島本町教育委員会
所在地	桜井二丁目
種類	有形文化財
種別	美術工芸品(考古資料)
員数	1口
法量	口径 52.6cm 器高 105.0cm 最大胴部径 107.8cm (底部から65.9cmの地点) 容量 522.6ℓ
時代	奈良時代末期から平安時代

平成23年度 島本町指定文化財 第1号追加	
名称	将基馬日記
指定日	平成23年4月1日
所有者	水無瀬神宮(個人)
所在地	広瀬三丁目
種類	有形文化財
種別	美術工芸品(歴史資料)
時代	17世紀初期
員数	一冊

平成 29 年度 島本町指定文化財 第 7 号

名 称	: 若山神社絵馬	時 代	: 江戸時代
指 定 日	: 平成 30 年 1 月 15 日	員 数	: 曳馬図絵馬 1 一面
所 有 者	: 宗教法人 若山神社		: 曳馬図絵馬 2 一面
所 在 地	: 字広瀬 1497		: 猿猴乗馬図絵馬 一面
種 類	: 有形文化財		: 竹虎図絵馬 一面
種 別	: 民俗 (有形民俗)		



曳馬図絵馬 1

法量: 画面 縦 86.0cm
横 134.5cm
厚 2.2cm



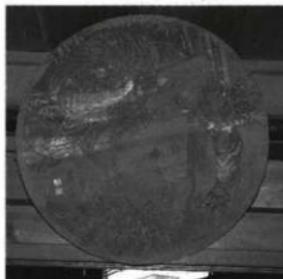
曳馬図絵馬 2

法量: 画面 縦 96.8cm
横 71.8cm
厚 1.4cm



猿猴乗馬図絵馬

法量: 画面 縦 104.7cm
横 74.3cm
厚 1.5cm



竹虎図絵馬

法量: 外径 80.0cm
厚 1.2cm

島本町立歴史文化資料館 館報 第10号
平成29年度版(2017)

発行 島本町教育委員会

〒618-8570

大阪府三島郡島本町桜井二丁目1番1号

TEL. 075-961-5151

発行日 平成30年12月

印刷 株式会社 西川印刷所

〒567-0828

大阪府茨木市舟木町18-30

TEL. 072-634-7644

